

## 遺伝子分析科学認定士（初級）試験合格までの道のり

◎浅田 杏子、宮井 優<sup>1)</sup>  
京都保健衛生専門学校<sup>1)</sup>

（はじめに）

2024年6月22日に実施された公益社団法人日本臨床検査同学院 遺伝子分析科学認定士（初級）試験を受験し合格した。在学中に資格取得を目指したきっかけ、試験対策に苦労した点を報告し、自身の将来について考える。

（目的・方法）

1年次に学んだ感染症検査の授業で遺伝子検査について興味を持ち、将来に活かせる資格を取得したいと考え、遺伝子分析科学認定士（初級）に辿り着いた。本校では在学中にこの資格を取得した前例がないため、遺伝子検査担当教員と共に実技試験対策を行った。筆記試験対策は自身の勉強を中心に、同時期に学んでいた国家試験対策授業が参考となった。

（結果・考察）

試験の前日に指定研修を受け、当日に挑んだ。会場には若手の方から幅広い年齢の方がおり、この資格が持つ有用性を実感することができた。動画試験、筆記試験、実技試験のいずれも容易ではなかったが、十分な対策を行い

合格することができた。特に検体のプライバシー保護や倫理について、資格取得のための学習を通して深く学ぶことができた。

（結語）

遺伝子分析科学認定士（初級）の資格を取得できたことはもちろん、取得のために勉強した内容は国家試験勉強にも繋がり、臨床検査技師として働く上で自信になると考える。遺伝子検査分野だけでなく、様々な検査や日々変化する医療情勢に興味を持って、知識や経験を積み、1人の臨床検査技師として医療に貢献できるよう成長していきたい。

連絡先 075-801-2571 / miyai.kyoho@gmail.com（京都保健衛生専門学校 宮井）